



ボジョレパーティ〜ワインで乾杯！

11月16日、高瀬蔵恒例のボジョレパーティを開催しました。
 今年は、お客様満足度の向上のため、高瀬蔵ビール祭りで好評だった100円券10枚綴りチケットを販売。ワインもおつまみもお客様のチョイスで楽しんでもらう形にしました。その効果もあつてか、皆さん自分のペースでボジョレヌーボーワインを味わっていただけたようです。
 また、ゲスト出演の二人のベリーダンサーの妖艶な踊りに、会場は大いに盛り上がりました。
 最後にビンゴゲームで素敵な商品をゲットした方々、ラッキーでしたね。来年もまたお越し下さい。
 (商店会イベント部会)



高瀬蔵ガラクタ市 商品提供のお願い！

恒例の「高瀬蔵ガラクタ市」。
 今年は1月27日(日)に開催します！！

つきましては、会員の皆様から販売する品物の提供をお願いします。贈答品や買ったけど使わないままのもの、まだ使えるけど不要になったもの、洋服や身の回り品・雑貨など何でも結構です。

提供していただける品物は、事前に高瀬蔵受付までお持ち頂けると助かります。ガラクタ市の収益は、NPO法人高瀬蔵の大切な収入になっています。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。
 (商店会イベント部会)

受付スタッフ一同 本年もよろしくお願いします！

明けましておめでとうございます。昨年は、会員の皆様の日頃よりのご支援のおかげで、無事に1年を終えることができました。受付スタッフ一同、感謝を申し上げます。本年も高瀬蔵をよろしくお願いします。
 (受付スタッフ一同)

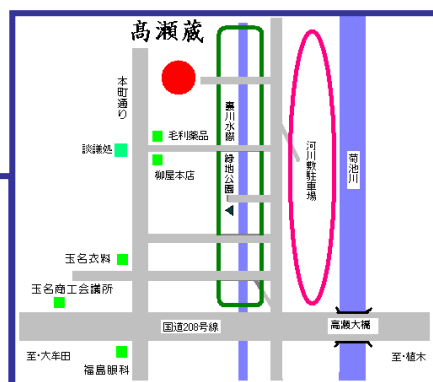
会費納入のお願い

当法人運営につきましては、日頃よりご協力を賜り感謝申し上げます。平成30年会費のお支払いがお済でない方は、高瀬蔵受付にて納入頂きますようお願いいたします。(事務局)



NPO法人 高瀬蔵

熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)
 TEL・FAX 0968-72-2480
 E-MAIL takasegura@aria.ocn.ne.jp
 URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>
 開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆ 亥年 ◆◆

謹賀新年



第10回アート in 高瀬 彫刻展

新年明けまして
 おめでとうございます

皆様方におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は全国のあちらこちらで大きな災害が起き、今年こそは平穏に暮らせるようにと願うところがあります。

特に今年は、新天皇ご即位により新たな元号が制定され新しい時代が始まります。この一年が皆様の記憶にどのように刻まれるか、それぞれの心構えや努力でより良い年にしたいものです。また、この時を転機として一步を踏み出し、新たな事柄に挑戦するにふさわしい時かもしれません。

高瀬蔵の運営も多くの問題を抱えてはおりますが、昭和生まれ、平成生まれ、〇〇生まれ、(大正生まれも!)の皆が相集う賑わいのある施設であります。すよう会員の皆様はじめ地域の皆様方のお力添えをお借りしながら頑張つてまいりたいと思っております。本年が皆さまにとつて実り多き一年でありますようご祈念申し上げます。

NPO法人高瀬蔵
 理事長 猿渡 公予



恒例のアート in 高瀬 彫刻展は、十周年を迎えました！

毎年恒例となっているこの彫刻展、早いもので、今年で第10回となりました。
崇城大学芸術学部・彫刻コースの学生さんの作品を中心に、大学OBや先生方の作品も展示しています。毎年出品してくれる学生さんは、1年ですごくレベルアップしているのが分かり頼もしい限り！

高瀬蔵は大きな柱や梁が迫力ある空間を創り出しています。その中での作品鑑賞は、普通の美術館やギャラリー展示では味わえない独特な魅力があります。

次回からは日本画コースも展示を…という話もチラホラあるようです。今後の「アート in 高瀬」にご期待ください！（まちづくり推進部会）



「Big Shoe」 児玉はるの



「CUT DOG」 しまうち みか



「夜の度」 東 耕平



「遠見」 奥森 日向子

他にも独創的な作品の数々が展示されました！

高瀬界隈巷間新第9話

熊本復興ドラマ「ともにすすむ サロン屋台村」上映会

10月19日開催の高瀬界隈巷間新は、「益城復興市場・屋台村」を舞台に県が制作した熊本復興ドラマ「ともにすすむ サロン屋台村」の上映会を行いました。復興に向け歩を進めてきた県民の実話をリアルに描く、笑いや感動を交えたストーリーで、熊本出身の高良健吾、倉科カナ、松岡未紗、中原丈雄ほかの出演、主題歌「ともに」は“WANIMA”です。

上映後にはそれぞれ感想や意見を出し合い、参加者全員で共有する時間を持ちました。地震の恐怖が蘇った。自分が被災したら打ちのめされて、賑やかな場所に出られなくなるのではという人もいました。地震では多くの被害が出ましたが、新たに生まれてきた、見えてきたことも多いようです。日頃のつながりが大事だったなどの声もあり、この経験を生かしていきたいものです。（文化部会）

